

コンプラ意識高める

九州の建設コンサル

5団体が研修会開催

建設コンサルタツ協会九州支部など建設コンサル5団体共催による「2024年度コンプライアンスに関する会員研修会」が11日、福岡市の福岡県中小企業振興センターで開かれた。写真。会員約2

30人が参加した。

研修会は同支部のほか、福岡県測量設計コンサルタツ協会、福岡県地質調査業協会、日本補償コンサルタツ協会九州支部、全国上下水道コンサルタツ協会九州支部の主催となる。

冒頭、主催者を代表してあいさつした日本補償コンサルタツ協会九州支部の白石陽一支部長は、近年、法規制が厳格化していることに触れ、「企業や労働者が順守すべきルールや規制は日々変化しており、コンプライアンス意識の重要性も高まっている。今日の研修をより良い職場環境作りに役立ててほしい」と語った。

研修会では公正取引委員会事務総局九州事務所下請課の柏木智宏課長が下請法につい

